

みずほCustomer Desk Report 2024/07/03号(As of 2024/07/02)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	161.71
TKY 9:00AM	161.51	1.0737	173.48	GBP/USD	1.2647
SYD-NY High	161.74	1.0747	173.58	AUD/USD	0.6655
SYD-NY Low	161.28	1.0710	173.11		
NY 5:00 PM	161.48	1.0746	173.50		
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	39,331.85	162.33	日本2年債	0.3600%	0.0100%
NASDAQ	18,028.76	149.46	日本10年債	1.0800%	0.0200%
S&P	5,509.01	33.92	米国2年債	4.7506%	▲0.0082%
日経平均	40,074.69	443.63	米国5年債	4.3969%	▲0.0336%
TOPIX	2,856.62	32.34	米国10年債	4.4356%	▲0.0347%
シカゴ日経先物	40,305.00	725.00	独10年債	2.6065%	0.0030%
ロンドンFT	8,121.20	▲45.56	英10年債	4.2480%	▲0.0350%
DAX	18,164.06	▲126.60	豪10年債	4.4300%	0.0500%
ハンセン指数	17,769.14	50.53	USDJPY 1M Vol	9.81%	▲0.35%
上海総合	2,997.01	2.28	USDJPY 3M Vol	9.68%	▲0.15%
NY金	2,333.40	▲5.50	USDJPY 6M Vol	10.03%	▲0.14%
WTI	82.81	▲0.57	USDJPY 1M 25RR	▲0.61%	Yen Call Over
CRB指数	292.35	0.77	EURJPY 3M Vol	9.05%	▲0.21%
ドルインデックス	105.72	▲0.18	EURJPY 6M Vol	9.43%	▲0.16%

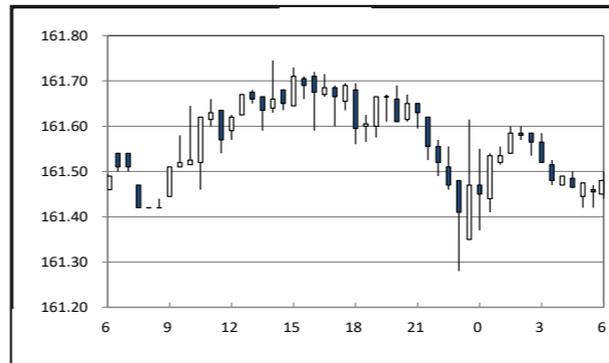
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
7月2日	18:00	欧 CPI(前年比/前月比)・速報	6月 2.5%/0.2%	2.5%/0.2%
	18:00	欧 失業率	5月 6.4%	6.4%
	22:30	欧 パウエルFRB議長 講演	「ディスインフレの軌道に戻りつつある」	

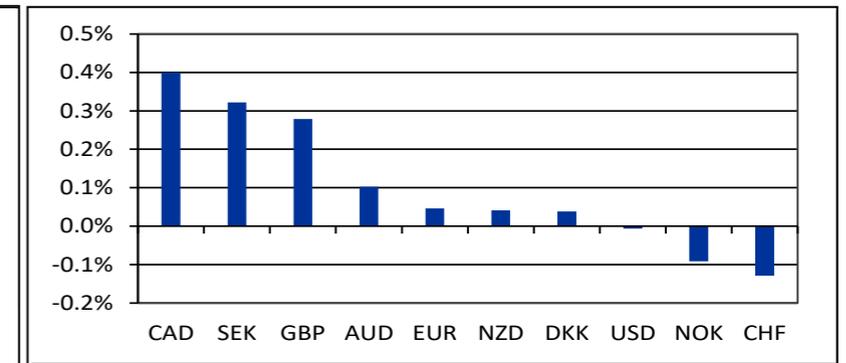
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
7月3日	10:30	豪 小売売上高(前月比)	5月 0.3%	0.1%
	10:45	中 Caixin中国PMIサービス業/コンポジット	6月 53.4/-	54.0/54.1
	17:00	欧 サービス業/コンポジットPMI・確報	6月 52.6/50.8	52.6/50.8
	19:30	欧 レーン・ECB理事 講演	-	-
	20:00	米 ウィリアムズ・NY連銀総裁 講演	-	-
	21:15	米 ADP雇用統計	6月 165k	152k
	21:30	米 貿易収支	5月 -\$76.5b	-\$74.6b
	21:30	米 新規失業保険申請件数	29-Jun 235k	233k
	22:45	米 サービス業/コンポジットPMI・確報	6月 55.1/-	55.1/54.6
	23:00	米 製造業受注(前月比)	5月 0.2%	0.7%
	23:00	米 ISM非製造業景況指数	6月 52.6	53.8
7月4日	03:00	米 FOMC議事録	12-Jun -	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	159.80-162.50	1.0680-1.0800	172.00-174.50

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は161円台での推移。注目されたパウエル議長の発言は「ディスインフレ傾向に再開の兆し」、「労働市場が予想外に弱まれば対応する」とややハト派と受け止められる内容となり米金利の低下とともにドル円も161円前半まで下落。しかし、その後の米5月JOLT求人件数が予想を上回ると、161.60まで反発しその後は横ばい圏での推移となった。今週は重要経済指標の公表が相次ぐこともあり、ドル円相場は経済指標の結果を見ながらの神経質な展開が続く。上値を探る動きもみられるが、昨日神田財務官は足元の動きについて「投機で動いている部分が多い」と警戒度合いを強めており、引き続き介入への警戒が上値を抑えよう。他方、昨日のパウエル議長の発言や、足元の冴えない米国消費動向を踏まえれば、本日の米6月ADP雇用統計やISM非製造業景況指数の結果如何ではドル安方向に調整が進む可能性も十分ありうると考える。足早にドル高が進んだ分、値幅の大きな下落には注意を払いたい。

東京	東京時間のドル円は161.51レベルでオープン。仲値にかけてややドル買い優勢の展開となるも勢いは続かず、その後は動意に欠ける展開に。午後になると堅調な日本株の推移を横目に、水準を切り上げて一時161.74まで上昇し年初来高値を更新。結局、同水準を維持して161.69レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、161.69レベルでオープン。小動きの中で若干の円高推移。161.62レベルでNYに渡った。欧州株は全般に下落。ユーロ圏6月CPIがほぼ予想通りとなる一方でECB委員からは利下げに慎重な姿勢を示したことを嫌気か。
ニューヨーク	海外市場のドル円は161円前半でスタート。日経平均株価の堅調な展開を背景とした円売りがドル円の下値を支え、161.62レベルでNYオープン。午前中はパウエル議長がイベントにて、「ディスインフレ傾向に再開の兆し」、「労働市場は冷え込みつつある」等との発言が伝わると、米金利の低下に伴い、161.28まで下落。しかし、その後に発表された米5月JOLT求人件数が予想を上回ると、米労働市場が依然逼迫しているとの思惑から、ドルが買い戻され、161.60まで反発。午後は買い一巡となり、小幅反落し、161.48レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.07円前半でスタート。レーンECB理事が今後の利下げを巡り慎重な姿勢を見せるも、ユーロドルは反応薄。その後は欧州株安の展開を横目にじり安で推移し、1.0710まで下落。その後は下げ渋り、1.0724レベルでNYオープン。午前中は米金利の低下に伴い、ドルが売られる中、1.0747まで上昇。午後ユーロ高の展開となり、高値圏の1.0740近辺での値動きが続き、1.0746レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。